

その結果、本年度の一般会計予算は、524億6,253万4千円となり、前年度に比べ11・8%の増となっております。

また、特別会計予算は、国民健康保険特別会計が181億8,428万9千円、後期高齢者医療特別会計が8億5,030万2千円、介護保険特別会計が87億1,538万7千円、公共下水道事業特別会計が25億9,647万6千円、農業集落排水事業特別会計が1,489万2千円、公営企業の水道事業会計予算は、36億4,188万1千円となっております。

従いまして、本市の総予算規模は、一般会計、特別会計及び水道事業会計を合わせた864億6,576万1千円であります。

### 主要事業の概要

次に、平成26年度主要事業の概要について、総合計画に掲げた5つの基本目標に沿って説明いたします。

#### 第1 人と自然にやさしい基盤と環境を育てます

島しょ地域の豊かな自然と伝統文化は、これからも引き継がなければならぬ貴重な地域資源であり宝です。

これらの地域資源を生かした取り組みである、津堅・島おこし支援事業、

島アートプロジェクト事業などを引き続き実施するとともに、道路整備や農水産業などの基盤整備についても、辺地債等を活用し、島しょ地域の振興を図ります。



【旧伊計小中学校にて行われたイチハナリアート展】

学校統廃合に伴う学校跡地利用については、学校跡地の活用方針や方向性に基つき、地元の意向も踏まえ、スピード感を持って対応します。

東海岸開発基本計画については、「誇り高き神秘の島と躍動するあやはしのまち」を基本理念とし、本年度は敷地島の市道与那城17号線道路整備事業に取り組みます。

市道については、安慶名西原線ほか8路線の整備を引き続き推進するとともに、新たに池味地区道路整備事業に着手するほか、各地域の生活道路の整備も進めます。

また、(仮称)勝連半島南岸道路整備事業については、国・県に対し、積極的に調整・協力するとともに、事業の早期実現を求めてまいります。

街路については、安慶名3区線及び4区線、兼箇段高江洲線などの道路改築事業に引き続き取り組みます。

地域公共交通については、昨年度実施した「うるま市公共交通システム導入調査事業」を踏まえ、新たな公共交通サービスの構築に向け、引き続き取り組みます。

安慶名土地区画整理事業については、建物移転の進捗に合わせてインフラ整備を行い、宅地の早期利用を推進するとともに、住居表示整備事業を実施します。

石川西及び江洲の土地区画整理事業については、引き続き技術的指導等の支援を行い、早期完了を目指します。

市営住宅については、長田団地建替事業をはじめ、東山団地の改修事業に引き続き取り組みます。

また、使用料の滞納対策については、「私債権管理条例」に基づき、適正な管理と徴収率の向上に努めます。

景観については、「うるま市景観計画」に基づき、沖縄らしい風景づくり推進事業を実施し、勝連南風原地区などの景観地区指定に向け取り組みます。また、市民の景観や緑化づくりへの

意識醸成を図るため、引き続き普及啓発に努めます。

与那城地区の用途未指定地域については、特定用途制限地域の指定に向け取り組みます。

環境については、「うるま市環境調和型まちづくり実行計画」、「うるま市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を推進するとともに、「うるま市環境基本計画」を策定します。

ごみ対策については、循環型社会の構築を目指し、野犬・ハブ等については、引き続き迅速な対応に努めます。

墓地行政については、「うるま市墓地整備基本計画」を推進し、まちづくりとの整合性に留意した墓地立地の規制と誘導を進めます。

上水道については、島しょ地域の水質保全事業や配水ブロック中央監視システムの整備などに取り組みとともに、給配水管更新工事の促進に努め、安全安心な水道水の安定供給と有収率の向上を図ります。

下水道については、衛生的な生活環境の確保や河川・海域等の水質保全のため、赤道地区及び安慶名地区等の汚水管布設整備を推進するとともに、接続率の向上に努めます。

また、石川地区等の下水道施設の改築及び管更生工事についても引き続き実施します。